

令和 7（2025）年度
「地域とともに歩む次世代人材育成ブランディング事業」
に関する事業評価報告書

令和 8（2026）年 7 月
学校法人金城学園 事業評価会議

令和 8 年 7 月 21 日

学校法人 金城学園 理事長
将来構想委員会委員長 加藤 真一 様

金城学園事業評価会議
議長 川 北 誠 喜
野 本 俊
西 谷 公 作
細 川 外志男

< 総 評 >

金城学園では、文部科学省の「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援（メニュー１）」に貴大学の経営改革事業「地域とともに歩む次世代人材育成ブランディング事業」が令和６年度採択された。本事業は、令和６年度から５年間の計画で実施されるもので、事業の柱は、石川県の「成長戦略」、「創造的復興プラン」や白山市の「総合計画」等を見据え、１．全学部の新分野融合による多職種連携教育プログラムの新設、２．地域との有機的な連携体制による課題解決型実践プロジェクトの発展、３．多文化共生を推進する国際交流の充実を図るの３点である。これらを通じて次世代人材を育成し、新たなブランドを確立するとともに、学部・学科等の再編検討を含めた経営の安定化を目指している。

令和６年度に既存組織の再編と上記３つの教育プログラムを推進するための体制整備を計画に沿って進めたことにより、令和７年度には教育プログラムを本格的に始動させることができ、概ね計画通りに進んでいると評価できる。特に、多職種連携教育プログラムでは、医療、福祉系３学部での実施体制を確立できたため、令和８年度入学生からは、分野の異なる総合経済学部が加わることによるイノベーションが期待できる。新ブランディングについても、令和７年度内に新しいロゴマーク、タグライン、ステートメント等はまとめ、今後の広報展開に向けて検討中とのことで、概ね計画どおりに進んでいると評価できる。しかし、新ロゴ、タグライン等の報道発表が全メディアに事実上完全に取り上げられなかったことを踏まえ、今後はメディアとの関係性と情報提供の在り方に一層の工夫が求められるところである。

また、学園全体としての経営改善の取組としては、令和７年度内に、令和９年度以降の短期大学の幼児教育学科の募集停止（金城大学人間社会福祉学部子ども教育保育学科への発展的統合）などの学科再編及びその他の学科の定員見直し、附属幼稚園の認定こども園への移行準備等を決定する等、昨年度の事業評価会議で懸案となっていた事項も前進し、目標は概ね達成できたと評価できる。

今後は、さらなる学生確保に向けて、基本となる３つの教育プログラムの充実を図るとともに、白山市をはじめとする地域と日常的に連携を深め、新しいブランディングを踏まえた広報及び施策により積極的に情報を広く提供することや、留学生については、台湾の協定校との連携強化や台湾での学生募集活動を継続する一方、台湾及びその他の地域からの留学生確保に向けて、国内の日本語学校等への募集活動もさらに強化することが望まれる。

<自己点検報告書等に基づく評価・提言>

高等教育将来構想委員会がまとめた、計画書に準じた進捗状況を踏まえた自己点検報告書ならびに、令和7年度の各部会等の活動状況を取りまとめたマネジメントシートにより評価を行った。

1. 自己点検報告書に記載の各達成目標に関する評価及び提言について

① 収容定員充足率（令和8年5月1日現在）

大学全体で入学定員充足率100%には満たないものの、令和7年度の計画値をやや上回る結果となったことが確認された。これにより、ほぼ計画どおりに推移していると評価できる。

また、新たなブランディング構築についても、令和8年度前期のタグライン公表等に向けて概ね計画どおりに進行しており、今後の広報展開により、特に入学定員を満たしていない学部・学科に対し、入学定員が充足することに期待したい。

② 経常収支差額（令和7年度決算）

計画時の目標を上回る結果が確認できた。さらに予算策定プロセスについても、新たに学園に予算委員会を設置して試行するなどの取組も行われるなどの点も評価できる。

③-1 外部資金収入（令和7年度末時点：令和7年度決算）

外部資金獲得に向けて、計画に沿った組織的活動に発展し、受託事業は昨年度を上回る件数を獲得したとことが確認できた。引き続き、受託事業（自治体からの委託事業を含む。）の獲得と科学研究費補助金の採択件数が増加することに期待したい。

③-2 管理経費比率（令和7年度末時点：令和7年度決算）

管理経費比率が若干、計画値を下回ったが、管理経費が見込額を上回っているため、令和8年度決算は、目標値を達成していただきたい。

その他の下記指標については、今年度のアンケート未実施のため、実績値は出ていないがこれらについても、教育プログラムの充実と新ブランディングの広報展開に向けて施策を検討中とのことで、次年度は目標を達成するために今後の計画を着実に遂行していただきたい。

④-1 金城多職種連携教育プログラムの学内浸透（令和9年1月実施予定）

④-2 次世代人材育成ブランディング事業の地域浸透（令和9年2月実施予定）

2. 自己点検報告書の令和7年度の進捗状況及び自己評価について

これらについても、マネジメントシートに沿って進捗状況と自己評価が記載されており、概ね順調に進展しているものと評価する。

以上

事業評価会議構成員

議長	川北 誠喜	元 株式会社あさがおテレビ 代表取締役社長
	野本 俊	社会福祉法人金城福祉会 蝶屋こども園 事務長
	西谷 公作	金城学園 監事
	細川 外志男	金城学園 監事